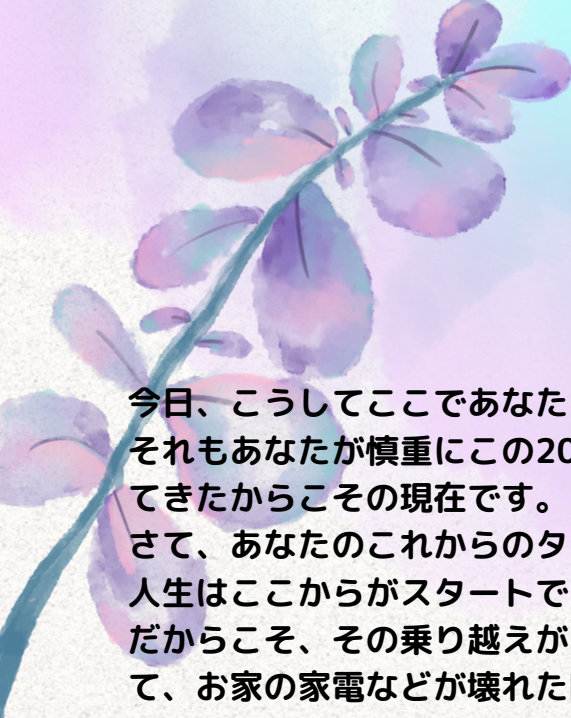




〇〇さんへ

今日、こうしてここであなたにお話ができることを、私は本当に嬉しく思っています。それもあなたが慎重にこの2020年以降の世界の変動を見定め、怠ることなく歩み続けてきたからこそ現在の現在です。

さて、あなたのこれからのタイムスケジュールについてお話しておきますね。あなたの人生はここからがスタートです。今まではここへたどり着けるかどうかの課題でした。だからこそ、その乗り越えができ、次のフェーズに入りましたよ、というサインとして、お家の家電などが壊れた時がありましたよね。もうすでに次のフェーズへそこから入りました。

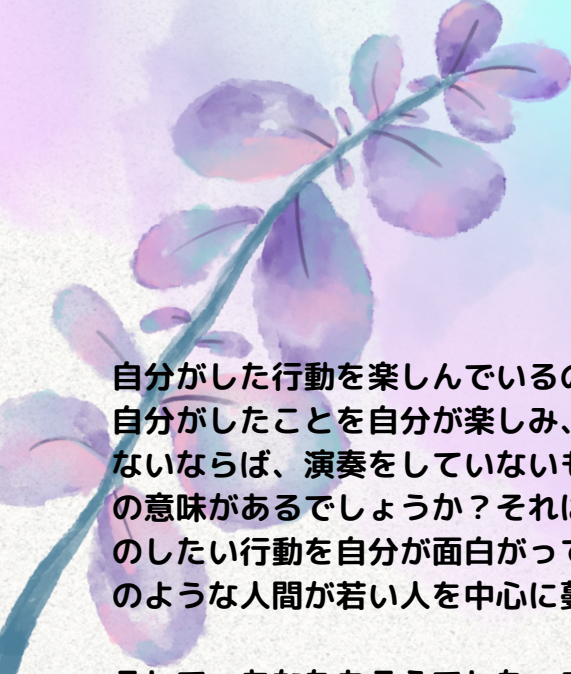
あなたの今までのお仕事人生は、激動する物事と、やりがいのある幸せと二極が同時に存在しているような、そんな人生です。だから、穏やかなことが一番とか、正しいとか、他の穏やかに生きている人を見ると、自分の人生をいぶかしく思っていたかと思います。その途中では、心を崩しかけたこともあったでしょう。しかし、そこであなたの心の支えとなり、心がここ（あなたの胸の中）に間違いなく存在していることを、教え続け、あなたを保たせ続けてきたもの…。

それが「音楽」でした。

あなたという真逆の二極をいつでも離れないように、そして壊れないようにつなぎとめていたものが「音楽」だったのです。ですので、これからはあなたの心と心をつなぎとめてくれたものを、今度はあなたと他の誰か、そして他の誰かと他の誰か、あなたの国と他の国…というように、「音楽」というものがいかようにも、自分と他者とをつなぎとめてくれるものなのだとすることを体現していく時期に入っていきます。そして、それこそがあなたが本当に成し遂げたかった「自己実現」なのです。

自分とそれ以外をつなぎとめ、融合し、調和してゆき、1人では奏でることができないメロディーを奏でたいという思いです。そして、人生における「奏でる」とは、「それ自体をしながらそれを楽しむ」ということです。奏でている時は、楽器を鳴らしたり、歌っていたり、叩いていたりにしているでしょう。しかし、それ自体を楽しんでいますよね。ただただ、鳴らすだけ、とそれだけをしているのではなく、「それ自体をしながらそれを楽しんでいる」ということをしていると思います。それが本当の人生を生きる意味です。奏でているのです。味わっているのです。自分の鳴らした音を、自分が吹いている音を。





自分がした行動を楽しんでいるのです。自分が思ったことを味わっているのです。人生とは、自分がしたことを自分が楽しみ、味わうことなのです。何かをしていても、自分が味わっていないならば、演奏をしていないも同然です。つまり、楽器を意味もなくただ鳴らすことに、何の意味があるのでしょうか？それは音楽ではないのです。つまり、人生を生きるとは自分が自分のしたい行動を自分が面白がって、楽しんで、味わっていないならば、無味乾燥なのです。そのような人間が若い人を中心に蔓延していると思いますよ。

そして、あなたもそうでした。自分が何をしたいのかを楽しんだり、また「いいこというよな～自分♪」だなんて、面白がって味わう事など一切なく、すべきことをし続けてきたあなたでした。普通の人には集中力も我慢力もないので、何もできませんが、あなたは長けた集中力も辛抱する力も持ち合わせてしまったがゆえに、心を崩しかけてしまったのです。

しかし、それはあなたへの一筋の光でした。

心を崩しかけたことが、あなたを本当の道へと戻してくれたのです。今、過去のつらささえも、本当の道へと舞い戻るためのレスキューを自分がしっかりデザインしたのだと、その緻密さとその完璧さを是非、誇りに思ってくださいと思います。

そして、あなたが人生を生きる事への希薄さを感じたとしても、その誤りに気が付き、そして「人生とは音楽を奏でることと同じ意味とやり方なんだ！」とあなたなら気づけると、そう人生に「音楽」を自分の人生にデザインしました。そして、そのデザインは汎用性があり、他の人にも気づきを与えられるものとして、あなたは自分の手に携えました。それがやっとこれから、自己実現に向けて、あなたが本当にしたかったものとして、多くの人たちとのコミュニケーションと共に生きていく…。それだけで、奏でていることと同じなのだと、若い人たちや、あなたにまつわる人たちにあなたはきっと「指導」しいくと思います。

あなたの道は今まさに順調で、これからもこのままあなたの感性に従って進んでいって下さいね。どんな時代が来ようとも、どんな時代になろうとも「スピリチュアリティ（精神性）」は普遍の存在です。あなたはスピリチュアリティなのです。あなたはその源なのです。それを信じるだけで、そして笑顔で生きるだけで、あなたはあなたをまっとうすることができますからね。

いいですね。分かりましたね。

2023年8月 たつ乃愛唯

